

2. 夢にあふれ心豊かに人と文化が輝くまち

—教育・文化の振興—

次代を担う子どもたちの個性と才能を伸ばし、人間性豊かで創造性に富む人間形成を図るため、夢に向かっていきいきと学べる教育環境づくりを進めます。また、誇りある歴史と文化を継承しながら、すべての市民が生涯を通じて学ぶことができるまちをつくります。

1. 義務教育等

- 幼児教育の充実
- 教育内容の充実(確かな学力)
- 教育内容の充実(豊かな心)
- 教育内容の充実(健やかな体)
- 安全な教育環境の整備
- 学校施設等の整備
- 教材及び教育環境の整備・充実
- 小学校の適正規模化の推進

2. 高等学校教育

- 甲府商業高校の充実
- スポーツによる健全な青少年の育成

3. 大学教育等

- 甲府商科専門学校の充実
- 教育内容の充実と就学支援

4. 生涯学習

- 生涯学習の推進
- 図書館の充実

5. スポーツ・レクリエーション

- 生涯スポーツの推進
- 施設の整備

6. 文化・芸術

- 文化・芸術活動の振興
- 文化財の保護と活用

7. 青少年

- 生活環境の浄化
- 自主的活動の推進
- 保護体制の強化

8. 男女共同参画

- こうふ男女共同参画プランの推進

9. 国際化への対応

- 国際交流
- 外国人に住みよいまちづくり

1 義務教育等

施策の基本的考え方

- 質の高い幼児教育を推進するため、教職員の資質・能力の向上に努めるとともに、保護者負担の軽減を図ります。
- 児童・生徒に確かな学力を身に付けさせるため、基礎的基本的な学習内容の定着、学力の向上、教職員の指導力の向上などを図ります。
- 新しい時代を担う子どもたちが、豊かな感性とたくましい行動力をもち、互いの良さを認め合いながら、進んで自己の課題に取り組むことのできる、心身ともに健康な児童・生徒の育成を図るため、甲府の子どもの教育の推進、生きる力の育成、生徒指導の充実、体験的学習の推進、国際理解教育の推進などに取り組みます。
- 児童・生徒の心身の健全な発育のため、健康安全教育の充実と保健管理の徹底、環境衛生の維持・改善及び学校給食の充実等を図ります。
- 児童・生徒の登下校時のみならず、安全で安心な学校生活を送れるよう、家庭・地域・関係機関との連携を密にし、防犯・防災に努めます。
- 児童・生徒が心身共に健全で安心した学校生活を送れるよう、教育施設の耐震化の整備、環境に配慮した施設の整備、学校体育施設の整備、学校給食施設の整備など教育施設の充実に努めます。
- 小・中学校のコンピュータ関連機器の整備に努めるとともに、新学習指導要領*に基づく教材の整備・充実に努めます。
- 適正な学校規模を確保し、児童が、等しく学ぶことができる教育環境の整備・充実に努めます。

施策・事業の体系

区分	施策	事業
義務教育等 01	01 幼児教育の充実	01 幼稚園就園奨励事業
		02 幼児教育振興事業
	02 教育内容の充実（確かな学力）	01 小学校外国語活動推進事業
		02 外国人講師による英語指導事業（中学校）
		03 きめ細かな教育推進事業
		04 教育支援ボランティア活用事業（小学校）
		05 教育支援ボランティア活用事業（中学校）
		06 教材・情報環境整備事業（小学校） ^{（再掲）}
		07 教材・情報環境整備事業（中学校） ^{（再掲）}
	03 教育内容の充実（豊かな心）	01 新しい時代を担う人づくり基金事業
	04 教育内容の充実（健やかな体）	01 学校給食事業（小学校）
		02 学校給食事業（中学校）
	05 安全な教育環境の整備	01 学校安全安心推進事業
	06 学校施設等の整備	01 小学校給食室整備事業
	07 教材及び教育環境の整備・充実	01 教材・情報環境整備事業（小学校）
		02 教材・情報環境整備事業（中学校）
	08 小学校の適正規模化の推進	01 小学校適正規模化推進事業
		02 きめ細かな教育推進事業 ^{（再掲）}

01 幼児教育の充実

■ 幼稚園就園奨励事業 【事業No.02010101】	担当部課係名	福祉部	児童保育課	ダイヤル	237-5092
			保育係		

事業概要

- 保護者の家庭の所得と園児数等に応じて保育料を減免している幼稚園に助成し、保護者の経済的負担を軽減することにより、子育て支援事業の推進と幼児教育の振興を図る。

現況と課題

- 減免額は保護者の所得により決定されるが、園児を取り巻く家族の生活実態が多様化しており、国の基準改定等に伴う基準の細分化による影響で提出書類だけでは確認が困難な世帯が増加しているため、所得状況の確認作業が煩雑化している。

今後の事業展開

- 県内の他市でも少子化を反映して制度の充実がみられる中、本市においても国の定めた補助限度額を基に本市の基準を設定し算定している。県内他市と比較しても充実しており、市民の期待感も高いことから、今後も広報誌等により制度のPRに努め予算の範囲内で単価設定を行い継続推進していく。なお、国において子ども・子育て関連3法が成立したため、その動向を注視しながら検討していく。

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値 (H25~27)
			平成23年度	平成24年度	平成25年度	
園児1人当たりの助成率 (%)	30	39	42	42	42	42
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H25~27)
	平成24年度		平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	162,007		169,470	169,470	169,470	

■ 幼児教育振興事業 【事業No.02010102】	担当部課係名	福祉部	児童保育課	ダイヤル	237-5092
			保育係		

事業概要

- 各私立幼稚園が実施する教職員研修、預かり保育事業*及び地域活動事業に対して助成を行う。また、私立幼稚園協会の教職員研修についても一部助成を行うことにより、幼児教育の振興と子育て支援の推進を図る。

現況と課題

- 教職員研修事業については、全ての私立幼稚園で実施しているが、預かり保育事業及び地域活動事業については、一部実施していない幼稚園がある。

今後の事業展開

- 幼稚園がもつ子育て支援機能を活用することにより、地域の子育て環境の整備を図ることを目的としているため、預かり保育事業及び地域活動事業に全ての私立幼稚園が取り込むよう要請していく。
- 幼稚園では定員割れが著しく、国でも幼保一体化を唱え平成18年10月には「認定子ども園」が施行となったが、平成23年度までに実施する園はなかった。今後も、子ども・子育て関連3法の導入による財源の一元化等を含め、国・県及び各幼稚園の動向を見ながら適切な対応を図っていく。

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値 (H25~27)
			平成23年度	平成24年度	平成25年度	
① 教職員研修事業実施率						
② 預かり保育事業実施率	① 100	① 100	① 100	① 100	① 100	① 100
③ 地域活動事業実施率 (%)	② 96 ③ 77	② 82 ③ 77	② 100 ③ 100	② 100 ③ 100	② 100 ③ 100	② 100 ③ 100
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H25~27)
	平成24年度		平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	9,165		9,260	9,260	9,260	

02 教育内容の充実（確かな学力）

■小学校外国語活動推進事業 【事業No.02010201】	担当部課係名	教育部	学校教育課	ダイヤル	223-7321
			学務係		

事業概要

●新学習指導要領に基づき、小学校5、6年生で実施される外国語活動のねらいである「外国語活動を通じて、言語や文化について体験的に理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、その音声や基本的な表現に慣れ親しませながら、中・高等学校等における外国語科の学習につながるコミュニケーション能力の素地を養う」ために、ネイティブスピーカー*の活用を図る。また、1年生から4年生においても、児童が外国語に触れたり外国の生活や文化に慣れ親しむ活動などを行ったりする中で、異なる文化に関心を持たせ国際理解教育の充実を図る。

現況と課題

●新学習指導要領の小学校外国語活動に対応するために、平成25年度から外国人英語講師を1名増員し、5名体制とした。外国人英語講師を5名体制にすることにより、5・6年生の各学級に毎時間、1年生から4年生にも学級につき年間3時間ネイティブスピーカーを配置することが可能となる。

今後の事業展開

●実施計画の確実な推進の中で、外国語を通じて、言語や文化について体験的な理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しませながら、コミュニケーションの素地を養う。さらに小学校における国際理解教育の充実を図る。

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値合計 (H25～27)
			平成23年度	平成24年度	平成25年度	
—	—	—	—	—	—	—
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H25～27)
	平成24年度		平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	20,963		26,354	26,354	26,354	

■外国人講師による英語指導事業（中学校） 【事業No.02010202】	担当部課係名	教育部	学校教育課	ダイヤル	223-7321
			学務係		

事業概要

●生きた英語教育の充実を図り、国際感覚を身につけた生徒の育成を図るため、実践的な英語指導を行う。

現況と課題

●中学校の英語教育と小学校における外国語活動とのスムーズな連携や授業の充実を図るため、情報交換や研修の場の設定が必要である。

今後の事業展開

●実施計画の確実な推進の中で、生徒の確実な基礎・基本の習得と発展的な学習の推進を図る。中学校より、本格的な英語教育が開始されるため、英語の指導法がより重要となる。姉妹都市デモイン市の現役教師が指導することによって、より体系的に英語を学ばせることができるため、今後も継続して姉妹都市デモイン市からの現役教師の招聘としていく。

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値合計 (H25～27)
			平成23年度	平成24年度	平成25年度	
—	—	—	—	—	—	—
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H25～27)
	平成24年度		平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	34,395		34,625	34,625	34,625	

■きめ細かな教育推進事業 【事業No.02010203】	担当部課係名	教育部	学校教育課	ダイヤル	223-7321
			教職員係		

事業概要

●甲府市立小中学校においては、少子化や地域性から児童数の減少により、複式学級編制を余儀なくされた小学校、南部地域における小学校の大規模化、外国籍児童が多く在籍して日本語や学習内容の理解が困難な教育環境にある学校などの児童に対して、きめ細かな指導や適切な教育的配慮の必要性から、臨時的教職員を配置し教育の安定化を図る中で、特色ある学校づくりに努める。

現況と課題

●千代田小学校の複式学級編制解消と大國・大里・山城小学校の南部3校の大規模校及び外国籍児童が多く在籍し、日本語や学習内容の理解が困難な教育環境にある学校などに、継続的に臨時的教職員の配置が必要である。また、以外の小中学校においても子どもたちの授業充実や学習基盤、生活基盤の指導などにおいて、きめ細かな学習指導を効果的に推進するために特別な人的配置が必要な状況にある学校に対して臨時的任用する教職員の配置が必要である。

今後の事業展開

●学校運営上特別な事情が生じた場合にきめ細かな学習指導を効果的に推進するため、特別な人的配置が必要な状況にある学校にきめ細かな指導や適切な教育的配慮の必要性により、臨時的教職員を配置し教育の安定化を図る中で、特色ある学校づくりに努める。

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値合計 (H25～27)
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
—	—	—	—	—	—	—
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H25～27)
	平成24年度		平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	21,941		21,980	21,980	21,980	65,940

■教育支援ボランティア活用事業（小学校） 【事業No.02010204】	担当部課係名	教育部	学校教育課	ダイヤル	223-7321
			学務係		

事業概要

●児童へのきめ細かな学習支援、特別な教育的支援が必要な児童への支援等の一層の充実を図るため、大学生及び教員OBや地域の方々を教育支援ボランティアとして小学校に派遣する。

現況と課題

●学生の数には限りがあり、また、近隣市町等の小中学校が学生ボランティアの活用を積極的に推し進めているため、人材確保が年々厳しくなっている。

今後の事業展開

●市内大学と連携を図りながら大学生の教育支援ボランティアを小学校に派遣するとともに、教員OBや地域の方々を教育支援ボランティアとして拡大を図っていく。

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値合計 (H25～27)
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
—	—	—	—	—	—	—
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H25～27)
	平成24年度		平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	664		664	664	664	1,992

■教育支援ボランティア活用事業（中学校） 【事業No.02010205】	担当部課係名	教育部	学校教育課	ダイヤル	223-7321
			学務係		

事業概要

- 生徒へのきめ細かな学習支援、特別な教育的支援が必要な生徒への支援等の一層の充実を図るため、大学生及び教員OBや地域の方々を教育支援ボランティアとして中学校に派遣する。

現況と課題

- 学生の数には限りがあり、また、近隣市町等の小中学校が学生ボランティアの活用を積極的に推し進めているため、人材確保が年々厳しくなっている。

今後の事業展開

- 市内大学と連携を図りながら大学生の教育支援ボランティアを中学校に派遣するとともに、教員OBや地域の方々を教育支援ボランティアとして拡大を図っていく。

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値合計 (H25～27)
			平成23年度	平成24年度	平成25年度	
—	—	—	—	—	—	—
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H25～27)
	平成24年度		平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	150		150	150	150	450

■教材・情報環境整備事業（小学校） 【事業No.02010206←No.02010701】再掲	担当部課係名	教育部	学事課	ダイヤル	223-7322
			学事係		

■教材・情報環境整備事業（中学校） 【事業No.02010207←No.02010702】再掲	担当部課係名	教育部	学事課	ダイヤル	223-7322
			学事係		

03 教育内容の充実（豊かな心）

■新しい時代を担う人づくり基金事業 【事業No.02010301】	担当部課係名	教育部	学校教育課	ダイヤルイン	223-7321
			学務係		

事業概要

●新しい時代を担う人づくりを目指して、「甲府の教育」の全体像を構築し、たくましい身体と思い遣りの心を育み、創造性豊かな人づくりに資するために、調査・研究及び検討を行い、その推進を図ることを目的としている。

現況と課題

●海外研修派遣は、姉妹都市デモン市と友好都市成都市へ派遣している。成都市との教育交流は5年サイクルにおいて、相互交流を行う協定が交わされており、デモン市との教育交流については、今までの派遣事業に加え、平成23年度より、相互教育交流として教育交流協議書を取り交わし、ホームステイによる受入事業を新規に計画した。今後の課題としては、派遣事業による還流報告や受入事業を通して、多くの児童生徒を対象とした教育交流を図っていくことが必要である。

今後の事業展開

●姉妹友好都市への派遣事業を充実させ、子どもたちに「思い遣る心」が醸成される事業展開を図る。また、生徒による還流報告は、他の生徒も自分たちと異なる文化を持つ人々への知識や関心を得ることができるよう、今後も継続し充実を図っていく。また、姉妹友好都市から児童生徒の受入事業を充実することにより相互教育交流としての事業効果を高めていく。なでしこ賞（撫子賞）については、児童生徒の「思い遣る心」を醸成するため、今後も継続していく。さらに、甲府の子どもの教育の中核である「思い遣る心」を育てるため、研究指定校を設け、家庭・地域と連携した特色ある学校づくりを推進していく。

成果指標	実績値		見込み値		目標値			目標値合計 (H25～27)
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成27年度		
① 海外研修派遣中学生数								
② 海外研修派遣甲府商業高校生数								
③ なでしこ(撫子)賞受賞小中学生数及び甲府商業高校生数 (人)	① 23	① 22	① 22	① 22	① 22	① 22	① 66	
	② 1	② 2	② 2	② 2	② 2	② 2	② 6	
	③ 599	③ 571	③ 550	③ 500	③ 500	③ 500	③ 1,500	
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H24～26)		
	平成24年度		平成25年度	平成26年度	平成27年度			
	9,996		11,179	11,179	11,179	33,537		

04 教育内容の充実（健やかな体）

■学校給食事業（小学校） 【事業No.02010401】	担当部課係名	教育部	学事課	ダイヤル	223-7322
			保健給食係		

事業概要

●教育活動の一環として、子どもたちの食生活・食教育に対する指導を行い、正しい食事マナー、健康的な食習慣・食生活等を身につけることができるよう児童に提供する安全な食材を確保する中で、給食内容を充実する。

現況と課題

●給食施設の老朽化、正規職員の定年退職による調理員の確保、衛生管理に対する指導の徹底などの課題とともに、地場農産物の給食への活用には、品質規格の均一性、必要量の確保等の課題がある。さらに、平成23年3月に発生した東日本大震災による原発事故において、放射性物質による食材の汚染が心配されており、給食食材への不安解消が喫緊の課題となっていることに加え、限られた給食費の範囲での給食実施が責務である中で、一層経済的な面からの安全で安心かつ充実した給食運営の継続が課題となっている。

今後の事業展開

●平成21年度に決定した委託化計画に課題が生じていたことから、平成24年度に委託化計画の見直しを行った。今後は、当該見直し計画に基づき、安全性を確保するなかで、給食調理業務の年次的な第三者委託を行う。なお、他校での円滑な委託の導入を図るため、第三者委託を行った学校の課題等を検証し、学校関係者、保護者、受託業者等と定期的な協議を行う。また、学校教育の一環としての学校給食の意義を踏まえ、衛生管理の徹底はもとより地産地消*の推進をはじめとする学校給食の充実を図る

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値 (H25~27)
			平成23年度	平成24年度	平成25年度	
県内農産物を使用した品目割合(%)	30.3	33.5	35	35	35	35
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H25~27)
	平成24年度		平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	488,109		334,200	489,659	474,083	

■学校給食事業（中学校） 【事業No.02010402】	担当部課係名	教育部	学事課	ダイヤル	223-7322
			保健給食係		

事業概要

●生徒に提供する給食内容を充実し、安全な食材の確保とともに、教育活動の一環として、子どもたちの食生活・食教育に対する指導を行い、正しい食事マナー、健康的な食習慣・食生活等を身につけることができるよう生徒に提供する安全な食材を確保する中で、給食内容を充実する。

現況と課題

●中学校給食は平成10年度から民間委託による弁当方式の給食を実施してきたが、その間の課題や状況変化等を踏まえ、平成22、23年度の2年間で全中学校を民間委託による食缶方式*に変更した。これにより、温かいものは温かい状態で、また、冷たいものは冷たい状態で給食提供が可能となった。しかし、これまで同様、生徒の食に対する嗜好の多様化などにより、食べ残しが課題としてあげられており、栄養バランスに配慮しつつも、生徒が食べやすい献立による給食の提供に努めるとともに、調理業者への衛生管理指導の徹底を図っている。さらに、平成23年3月に発生した東日本大震災による原発事故において、放射性物質による食材の汚染が心配されており、給食食材への不安解消が喫緊の課題となっていることに加え、限られた給食費の範囲での給食実施が責務である中で、一層経済的な面からの安全で安心かつ充実した給食運営の継続が課題となっている。

今後の事業展開

●今後も必要に応じて、学校関係者等で構成する「中学校給食業務運営研究会」を開催するなど、食缶方式における課題等の協議を随時行う。また、給食調理業者への衛生管理指導を徹底するとともに、学校教育の一環としての学校給食の意義を踏まえ、産地表示や地産地消の推進をはじめとする学校給食の充実を図る。

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値 (H25~27)
			平成23年度	平成24年度	平成25年度	
県内農産物を使用した品目割合(%)	31.4	26.6	35	35	35	35
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H25~27)
	平成24年度		平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	178,466		176,762	183,290	181,790	

05 安全な教育環境の整備

■学校安全安心推進事業 【事業No.02010501】	担当部課係名	教育部	学事課・学校教育課	ダイヤルイン	223-7322
			学事係・学務係		

事業概要

- 全国的に学校の教育現場（学校内及び通学路等）において、悲惨な事件等が起きる現状の中で、事故・事件の未然の防止及び緊急避難対策等の強化を図る。

現況と課題

- 学校や通学路における事件・事故が大きな問題となっている近年の状況を踏まえ、子どもたちが安心して教育を受けられるよう、通学路合同点検を行い、関係機関に対策実施を要望した。また、マメルメール*への登録を促すとともに、人的（学校安全ボランティア等の協力）な巡視等の強化を図った。今後もスクールガード（学校安全ボランティア）等との連携を図り、地域力を生かし、地域のボランティアを活用するなど地域社会全体で学校安全に取り組む体制を整備し、安全で安心な学校を確立するため、効率・効果的な組織体制の整備を要する。

今後の事業展開

- 学校施設内への不審者侵入等に対する効果的な防備手法を検討するとともに、マメルメールや防犯ブザーの有効活用に向けた周知を図る。また、安全・安心な学校生活が送れるよう、引き続きスクールガードをはじめ、関係者間の連携を強化し、地域社会全体で子どもの安全を見守る体制の整備を図る。

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値 (H25～27)
			平成23年度	平成24年度	平成25年度	
全小学生に対する防犯ブザーの配布割合(%)	100	100	100	100	100	100
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H25～27)
	平成24年度		平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	1,695		1,663	1,671	1,674	

06 学校施設等の整備

■小学校給食室整備事業 【事業No.02010601】	担当部課係名	建設部	建築営繕課	ダイヤルイン	237-5862
			建築係		

事業概要

- 学校給食施設のドライ化による衛生管理の充実を図り、安全で安心な学校給食を児童に提供する。

現況と課題

- 改築工事中における学習環境の低下

今後の事業展開

- 学校給食施設の整備を促進し、安全な学校給食の実施を図るよう、可能な限り早急で確実な整備に取り組む。
- ドライ運用化による事業計画の見直しを行い、今後は、ドライ化の施設整備へ転換する。
また、改築中の学校への給食配送を考慮し、事業完了を平成31年度とする。

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値 (H25～27)
			平成23年度	平成24年度	平成25年度	
給食室整備達成率(%)	17	39	50	67	78	78
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H25～27)
	平成24年度		平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	460,307		16,152	495,724	234,186	

07 教材及び教育環境の整備・充実

■教材・情報環境整備事業（小学校） 【事業No.02010701】	担当部課係名	教育部	学事課	ダイヤル	223-7322
			学事係		

事業概要

- 新学習指導要領に基づき、授業に必要な教材・教具の整備、充実を図るとともに、コンピュータ機器及び教育用コンテンツの活用等による情報教育環境を整備する。

現況と課題

- 各学校の児童・生徒用の机・椅子及び大型・特殊教材教具（実験用机・調理用机・グランドピアノ等）は老朽化しており、通常の整備費のなかでの更新が困難な状況にあるため、年次の整備のための予算確保が求められる。

今後の事業展開

- 「新甲府市標準教材」*に基づき、特色ある教育を実践するための教材教具の整備を計画的に行う。
また、情報機器を活用した ICT 教育の充実を図るとともに、平成 25 年度においては学校図書館ネットワークの再構築を行う。

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値 (H25～27)
			平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	
コンピュータ 1 台を使用できる 児童の人数 (人)	平成 23 年度 3.6	平成 24 年度 3.5	平成 25 年度 3.6	平成 26 年度 3.6	平成 27 年度 3.6	3.6
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H25～27)
	平成 24 年度		平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	
	86,363		91,971	94,588	94,588	

■教材・情報環境整備事業（中学校） 【事業No.02010702】	担当部課係名	教育部	学事課	ダイヤル	223-7322
			学事係		

事業概要

- 新学習指導要領に基づき、授業に必要な教材・教具の整備、充実を図るとともに、コンピュータ機器及び教育用コンテンツの活用等による情報教育環境を整備する。

現況と課題

- 各学校の児童・生徒用の机・椅子及び大型・特殊教材教具（実験用机・調理用机・グランドピアノ等）は老朽化しており、通常の整備費のなかでの更新が困難な状況にあるため、年次の整備のための予算確保が求められる。

今後の事業展開

- 「新甲府市標準教材」に基づき、特色ある教育を実践するための教材教具の整備を計画的に行う。
また、情報機器を活用した ICT 教育の充実を図るとともに、平成 25 年度においては学校図書館ネットワークの再構築を行う。

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値 (H25～27)
			平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	
コンピュータ 1 台を使用できる 生徒の人数 (人)	平成 23 年度 2.8	平成 24 年度 2.8	平成 25 年度 3.6	平成 26 年度 3.6	平成 27 年度 3.6	3.6
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H25～27)
	平成 24 年度		平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	
	43,427		44,312	44,333	44,333	

08 小学校の適正規模化の推進

■小学校適正規模化推進事業 【事業No.02010801】	担当部課係名	教育部	総務課 学校規模適正係	ダイヤル	223-7320
--	--------	-----	----------------	------	----------

事業概要

- 適正な学校規模を確保し、学校間格差の解消を図り、甲府の子ども達すべてが、等しく学ぶことのできる教育環境の整備充実を図る。

現況と課題

- 平成23年4月の善誘館小学校開校により、平成16年策定の小学校適正規模化の基本方針は終結したが、少子化に歯止めがかからず児童・生徒数が減少している学校が多い状況を勘案すると、今後も、児童・生徒数の推移を十分把握しながら、全市的な小・中学校の適正規模・適正配置の新たな方針策定を行う必要がある。
また、一部地域開発により大規模校化している小中学校については、今後の児童・生徒数の推移や開発の動向などを注視する中、県の新たな学級編制基準も見据えた、施設整備等による当面の教室確保の方策を立てる必要がある。

今後の事業展開

- 引き続き、児童・生徒数の推移を十分把握するとともに、国や県の動向にも対応した全市的な小・中学校の適正規模・適正配置について、他都市の取り組み等も参考に、方針策定に向けての具体的な方策の検討を行っていく。
大規模校については、関係部署との連携及び役割分担による対応を必要に応じて行っていく。

成果指標	実績値		見込み値			目標値			目標値合計 (H25~27)
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H25~27)			
	平成24年度		平成25年度	平成26年度	平成27年度				
	80		80	80	80	240			

■きめ細かな教育推進事業 【事業No.02010802←No.02010203】再掲	担当部課係名	教育部	学校教育課 教職員係	ダイヤル	223-7321
---	--------	-----	---------------	------	----------

2 高等学校教育

施策の基本的考え方

- 商業分野の専門性の追求と情報処理に関する研究・教育並びに施設整備の充実を図り、各種資格取得のできる学習の展開を図るとともに、教職員資質の向上にも努めます。
- 全国高等学校総合体育大会を開催(平成26年)することにより、教育活動の一環として高等学校生徒に広くスポーツ実践の機会を与え、技能の向上とスポーツ精神の高揚を図るとともに、生徒相互の親睦を深め、心身ともに健全な青少年育成を推進します。

施策・事業の体系

区分	施策	事業
高等学校教育 02	01 甲府商業高校の充実	01 外国人講師による英語指導事業 (高等学校)
	02 スポーツによる健全な青少年の育成	01 全国高等学校総合体育大会推進事業費

01 甲府商業高校の充実

■外国人講師による英語指導事業（高等学校） 【事業No.02020101】	担当部課係名	教育部	学校教育課	ダイヤル	223-7321
			学務係		

事業概要

- 生きた英語教育の充実を図り、国際感覚を身につけた人材の育成を図るため、実践的な英語指導を行う。

現況と課題

- 「聞く」「話す」を中心とした実践的な指導や「基礎」「基本」の着実な定着、発展的な学習への取り組みの充実を図るうえから、より、積極的な外国人英語講師の活用が必要である。

今後の事業展開

- 実施計画の確実な推進の中で、生徒の確実な基礎・基本の習得と発展的な学習の推進を図る。

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値合計 (H25～27)
	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	
—	—	—	—	—	—	—
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H25～27)
	平成 24 年度		平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	
	5,242		5,272	5,272	5,272	

02 スポーツによる健全な青少年の育成

■全国高等学校総合体育大会推進事業 【事業No.02020201】	担当部課係名	教育部	スポーツ課	ダイヤル	223-7325
			スポーツ係		

事業概要

- 高等学校生徒に広くスポーツ実践の機会を与え、技能の向上とスポーツ精神の高揚を図るとともに、生徒相互の親睦を深め、心身ともに健全な青少年を育成するため、平成 26 年に全国高等学校総合体育大会を開催する。

現況と課題

- 競技会場等の確保及び役員補助員等、大会に必要な人材、設備を効率的に整える。

今後の事業展開

- 平成 25 年度に実行委員会を設置し、大会開催に向けた準備を行い、平成 26 年度には山梨・千葉・東京・神奈川の 4 県で大会を開催し、内 2 種目（陸上、卓球）が本市開催担当となっている。

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値合計 (H25～27)
	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	
—	—	—	—	—	—	—
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H25～27)
	平成 24 年度		平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	
	—		5,006	66,270	—	

3 大学教育等

施策の基本的考え方

- 全国でも数少ない、公立の商業実務系専門学校である本校の特色を生かせるよう、学科の充実、開放講座の推進、学校間連携教育の推進、国際交流の推進など学校改革に取り組みます。
- 市内高等教育機関の学部・学科の充実等の要請を行うとともに、就学の支援に努めます。

施策・事業の体系

区分	施策	事業
大学教育等 03	01 甲府商科専門学校の充実	
	02 教育内容の充実と就学支援	01 入学準備金融資事業

02 教育内容の充実と就学支援

■入学準備金融資事業 【事業No.02030201】	担当部課係名	教育部	学事課	ダイヤル	223-7322
			学事係		

事業概要

- 教育の振興に資することを目的として、大学・大学院及び専修学校の専門課程並びに高等学校等に入学する者の保護者で、入学準備金の調達が困難な者に対して、必要な資金の融資を行う。

現況と課題

- 現在の社会情勢（所得格差の拡大や母子世帯の増加等）を反映し、市民ニーズとしては、依然と高いものがあるが、金融機関の信用調査などがあるため、申し込み件数に対して融資実行件数が比例しない。（H23実績申し込み件数59件・融資実行件数16件）

今後の事業展開

- 所得格差が拡大する社会状況の中、経済的困窮者への融資制度としてさらに有用性等を高めるため、事業内容等の検証を行い、より利用しやすい制度となるよう事業を推進する。

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値合計 (H25～27)
			平成23年度	平成24年度	平成25年度	
融資件数 (件)	16	18	20	20	20	60
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H25～27)
	平成24年度		平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	45,564		45,068	53,584	59,184	157,836

4 生涯学習

施策の基本的考え方

- 生涯学習社会の実現を図るため、「生涯学習都市宣言」の精神を基調にしながら、「甲府市生涯学習ビジョン*」に基づき「きょういくの日*」関連事業などの開催や、公民館活動等を通じ、生涯にわたり学び続けることができる環境づくりに努めます。
- 「まなび奨励ポイント制度*」により生涯学習の参加意識の向上を図ります。
- 生涯学習の拠点として、蔵書資料の充実を図りながら、良質な市民サービスの提供に努めるとともに図書館サービスネットワーク*の構築を目指します。

施策・事業の体系

区分	施策	事業
生涯学習 04	01 生涯学習の推進	01 生涯学習振興事業
	02 図書館の充実	01 図書館資料整備・サービスネットワーク事業

01 生涯学習の推進

■生涯学習振興事業 【事業No.02040101】	担当部課係名	教育部	生涯学習課	ダイヤル	223-7323
			生涯学習係		

事業概要

- 総合市民会館及び各公民館等の利用促進を通じて、市民の生涯学習意識の高揚を図り、生涯学習社会の実現に向けた事業を推進する。

現況と課題

- 魅力ある生涯学習事業を推進するにあたっては、時代に即した斬新なアイデアと柔軟な発想力が必要とされる。

今後の事業展開

- 生涯学習への参加意識の向上を図るための「まなび奨励ポイント制度」を創設するとともに、新たに策定した「甲府市生涯学習ビジョン」に基づき「きょういくの日」関連事業などの開催や、公民館活動等を通じ、生涯にわたり学び続けることができる環境づくりに努める。

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値合計 (H25～27)
			平成23年度	平成24年度	平成25年度	
生涯学習事業延べ参加者数(人)	27,270	25,000	25,000	25,000	25,000	75,000
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H25～27)
	平成24年度		平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	6,000		6,000	6,000	6,000	18,000

02 図書館の充実

■図書館資料整備・サービスネットワーク事業 【事業No.02040201】	担当部課係名	教育部	図書館	(外線)	235-1427
			管理係		

事業概要

- 本やAVなど文化・教養・調査研究・趣味・娯楽等に資する資料の収集や保存を行い、甲府市民をはじめとする利用者にとともに、市内のどこに住んでいても身近な場所で図書館サービスが受けられるようサービスネットワークの構築を目指している。

現況と課題

- 利用者のニーズに応えたものや資料的価値の高いものの収集、また館としての独自性や特色を打出すための資料収集及び図書館サービスを受ける市民の利便性を高めるためのサービスポイントの構築が課題である。

今後の事業展開

- 一般公衆の利用に供し、その文化・教養・調査研究・趣味・娯楽等に資する資料の収集のための資料費を、類似都市の公立図書館資料費や日本図書館協会が策定した資料費基準などに基づき拡大するとともに、市立図書館のサービスポイントとしての公民館図書室の活用を通じて読書文化の醸成に努める。

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値合計 (H25～27)
			平成23年度	平成24年度	平成25年度	
資料貸出数 (点)	626,256	651,500	656,000	662,500	673,000	1,991,500
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H25～27)
	平成24年度		平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	22,000		23,000	23,000	23,000	69,000

5 スポーツ・レクリエーション

施策の基本的考え方

- だれもがいつでも身近にスポーツに親しみ、市民一人ひとりが生涯にわたって健康で活力に満ちた社会の実現を目指すため、指導者の育成・確保に努めながらニュースポーツ*の普及等の機会や情報の提供にも努めます。
- 市民スポーツの活動拠点として良好な環境を提供するため、各施設の機能整備に努めます。また、身近な運動施設として学校体育施設についても積極的に社会開放し、施設の効率的な活用を図ります。

施策・事業の体系

区分	施策	事業
スポーツ・レクリエーション 05	01 生涯スポーツの推進	01 学校開放管理事業
	02 施設の整備	01 各種スポーツ施設管理事業

01 生涯スポーツの推進

■学校開放管理事業 【事業No.02050101】	担当部課係名	教育部	スポーツ課	ダイヤル	223-7325
			スポーツ係		

事業概要

- 一般市民が身近に利用できるスポーツ活動の拠点として、市立の学校体育施設を学校教育に支障のない限り開放し、市民の健康増進とスポーツの定着化を図る。

現況と課題

- 各開放校における、社会体育施設の老朽化に伴う整備・改修等への対応。

今後の事業展開

- 地域住民がスポーツ活動を行うにあたり、身近な施設として学校体育施設の果たす役割は大きく、さらなる使用料の確保に努める中で、施設の改修計画に基づき年次的な整備を行う。

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値 (H25～27)
			平成23年度	平成24年度	平成25年度	
施設利用件数の増加率(%) (当年延べ利用件数/過去最高延べ利用件数)	88.39	105	105	105	105	105
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H25～27)
	平成24年度		平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	26,706		34,859	55,450	55,450	

02 施設の整備

■各種スポーツ施設管理事業 【事業No.02050201】	担当部課係名	教育部	スポーツ課	ダイヤル	223-7325
			スポーツ係		

事業概要

- スポーツ施設の整備を行うことにより、スポーツレベルの向上及び健康・体力の維持増進や豊かなコミュニティづくりを図り、市民の間に生涯スポーツを普及する。

現況と課題

- 都市基幹公園(運動公園)としての緑が丘スポーツ公園の整備及び各施設の老朽化への対応。

今後の事業展開

- 高齢化社会及び生活の利便性迫及による運動不足の日常化等の中で、スポーツによる健康維持管理増進意識は高まりつつある。これに応えるため、社会体育施設の整備を積極的に進める。
- 甲府市緑が丘スポーツ公園整備等庁内検討委員会において、竣工から50年以上が経過し、老朽化が著しい緑が丘スポーツ公園全体の整備計画及び維持管理について多角的に検討を行う。

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値 (H25～27)
			平成23年度	平成24年度	平成25年度	
施設利用件数の増加率(%) (当年延べ利用件数/過去最高延べ利用件数)	84.49	107	107	107	107	107
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H25～27)
	平成24年度		平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	147,896		77,129	89,856	151,829	

6 文化・芸術

施策の基本的考え方

- 文化・芸術活動の振興を図るため、生涯教育推進プロジェクトにより、市民が優れた文化・芸術に接する機会の提供や創作活動の場の拡充に努めます。
- 本市に存在する指定文化財*及び登録文化財*の保護・保存と啓発・普及に努めるとともに、未指定文化財についても調査・研究を行います。また、史跡公園の計画的な整備等を行い、文化財の保存・活用を図ります。

施策・事業の体系

区分	施策	事業
文化・芸術 06	01 文化・芸術活動の振興	01 文化振興基金事業
		02 国民文化祭推進事業
		03 エンジン01文化戦略会議開催事業
	02 文化財の保護と活用	01 史跡武田氏館跡整備事業

01 文化・芸術活動の振興

■文化振興基金事業 【事業No.02060101】	担当部課係名	教育部	文化課	ダイヤル	223-7324
			芸術係		

事業概要

- 市民に良質な芸術を提供することにより文化芸術の普及と振興を図り、市民個々の豊かな創造性や人間性の形成に資する。

現況と課題

- 長引く不況の影響で金利が回復する見込みがなく、基金運用益を活用しての事業実施は困難で、基金を取り崩して対応しているため、事業規模に制約があり、将来的な展望を含め、検証を引き続き行っていく必要がある。

今後の事業展開

- 市民の文化的意識を高め、情緒ある日常生活を過ごしてもらうために、市民参加型の芸術性豊かな質の高い文化芸術の実施を図る。

成果指標	実績値		見込み値			目標値			目標値合計 (H25～27)
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
事業の参加者数 (入場者・出演者)(人)	34,993	22,794	25,000	25,000	25,000				75,000
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)						計画額合計 (H25～27)
	平成24年度		平成25年度	平成26年度	平成27年度				
	19,138		16,442	21,301	21,349	59,092			

■国民文化祭推進事業 【事業No.02060102】	担当部課係名	教育部	国民文化祭課	ダイヤル	223-7332
			国民文化祭係		

事業概要

- 「第28回国民文化祭・やまなし2013」(富士の国やまなし国文祭)の甲府市主催事業が4月から開催される。それを契機として市民の文化活動の一層の促進と新たな文化の創造につなげ、更なる本市の文化力の向上を図ることを目的とする。

現況と課題

- 芸術文化活動愛好者・団体をはじめ一般市民に対しても国民文化祭開催の周知を徹底し、開催機運の醸成を図り、また、事業効果を一過性のものではなく、本市の文化振興につながるものとする必要がある。

今後の事業展開

- 関係機関と引き続き調整を図ったうえで、本市で実施する事業の具体的検討を行うとともに、国民文化祭の知名度アップのためのPR活動を展開する。

成果指標	実績値		見込み値			目標値			目標値合計 (H25～27)
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
事業の参加者数 (入場者・出演者)(人)	—	—	50,000	—	—				50,000
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)						計画額合計 (H25～27)
	平成24年度		平成25年度	平成26年度	平成27年度				
	7,508		41,231	—	—				

■エンジン01文化戦略会議開催事業 【事業No.02060103】	担当部課係名	教育部	国民文化祭課	ダイヤル	223-7332
			エンジン01係		

事業概要

- 「エンジン01文化戦略会議」は、日本を代表する各分野で活躍する文化人・知識人・芸術家などが、日本文化のさらなる深まりと広がりを目指して活動を行う集団であり、その中でも「オープンカレッジ」は、一流の講師陣による講座及びシンポジウム等を開催し、市民との知と文化の交流を通じ、創造的な活動の発想やヒントを得ることにより、地域文化の活性化を図ることを目的とし、平成25年11月29日・30日12月1日の3日間で開催する。

現況と課題

- 厳しい社会情勢であるが、このような状況下では、モノへの執着から精神的な豊かさへの転換という意識も醸成されつつある。さらに、歴史物語都市を標榜する本市にとって、その魅力を再発見する機会が求められている中、本市の文化・芸術の振興、地域の活性化、人材育成が求められている。

今後の事業展開

- オープンカレッジの実施にあたっては、実行委員会を組織するとともに経費については、県負担金や企業協賛等も含めた実行委員会予算として執行する。会場は、市内の大学に協力を求めるとともに、スタッフとして学生ボランティアの参加を要請して行く。また、夜楽として地元の飲食店において会員と一般参加者の交流を行い、より一層の親睦を深めるとともに甲府の魅力を発信する機会とする。

成果指標	実績値		見込み値			目標値		目標値合計 (H25～27)
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成25年度	平成26年度	
事業の参加者数 (入場者・出演者)(人)	—	—	20,000	—	—	—	—	20,000
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)					計画額合計 (H25～27)
	平成24年度		平成25年度	平成26年度	平成27年度			
	—		20,000	—	—			

02 文化財の保護と活用

■史跡武田氏館跡整備事業 【事業No.02060201】	担当部課係名	教育部	文化課	ダイヤル	223-7324
			文化財係		

事業概要

- 戦国大名居館と城下町の遺構が良好な状態で残っている武田氏館跡とその周辺一帯を開発から守り、生きた歴史に触れ、遺跡を含む自然環境の中で学べる野外の博物館とする。また学校教育や生涯学習の場として、さらには散策憩いの場として大いに活用出来る史跡公園として整備する。

現況と課題

- 整備をするにあたって公有地化を随時進めているが、公有地化においては土地所有者の理解と協力が必要であるため、計画的な買収が困難な状況である。また、館の中心部分は宗教的施設である神社となっているため、史跡整備との調和を図ることが課題である。
- 平成24年度の史跡整備の国庫補助事業は、全国で希望する地方公共団体が多いため一律25%のカットが通知されてきた。山梨県文化財補助金も平成23年度から補助額に上限が設定されてしまったため、事業を推進するにあたり市単部分の費用の増加とともに事業そのものも延長せざるをえない状況である。

今後の事業展開

- 県都甲府市の原点である武田氏館跡の整備を実施することは、甲府市は言うに及ばず戦国時代の日本を代表する歴史遺産を守り伝えるとともに、歴史教育や観光面等において有効な活用を図るものであり、武田氏館跡保存整備委員会及び武田氏館跡活用庁内検討委員会で協議する中で発掘調査の成果を生かした最も効果的な整備方法や活用方法を検討しながら事業の推進を図っていく。

成果指標	実績値		見込み値			目標値		目標値合計 (H25～27)
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成25年度	平成26年度	
史跡整備面積 (㎡)	545	1,150	1,200	2,000	2,000	—	—	5,200
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)					計画額合計 (H25～27)
	平成24年度		平成25年度	平成26年度	平成27年度			
	102,830		53,385	106,887	106,887			

7 青少年

施策の基本的考え方

- 青少年の健全な育成を図るため、有害環境浄化活動*の推進、総合育成体制の整備、家庭環境の重要性の啓発などに努めます。
- 青少年施設の整備と活用を図りながら、青少年ジュニアリーダー*の育成や子どもクラブ*など少年団体の活動を促進し、自主性の高揚と社会的認識の向上を図ります。
- 青少年の健全な育成を図るため、青少年非行防止活動の推進、青少年育成センターの充実・強化を図ります。

施策・事業の体系

区分	施策	事業
青少年 07	01 生活環境の浄化	
	02 自主的活動の推進	
	03 保護体制の強化	

8 男女共同参画

施策の基本的考え方

- 「甲府市男女共同参画推進条例」を基調に「甲府市男女共同参画センター」を活用しながら、女性団体間の交流促進などを行います。また「女性総合相談室*」の相談業務の充実を図り、より一層の男女共同参画の推進に努めます。

施策・事業の体系

区分	施策	事業
男女共同参画 08	01 こうふ男女共同参画プランの推進	01 男女共同参画推進事業

01 こうふ男女共同参画プランの推進

男女共同参画推進事業（特別職給与費を含む） 【事業No.02080101】	担当部課係名	市民部	人権男女参画課	ダイヤルイン	237-5209
			男女参画係		

事業概要

- 男女が、社会の対等な構成員として、自らの意志によって職場、学校、地域、家庭、その他のあらゆる分野における活動に参画する機会が確保され、また均等に政治的、経済的、社会的及び文化的利益を享受することができ、かつ共に責任を担う生き生きとした、豊かで活力ある「男女共同参画社会」を実現する。

現況と課題

- 男女共同参画社会づくりを地域等に定着させるために、市民と行政が連携して男女共同参画施策を具体的に推進できるシステムづくりが必要である。

今後の事業展開

- 男女共同参画社会実現に向け、「甲府市男女共同参画推進条例」に基づき、「第2次こうふ男女共同参画プラン*」を継続推進する。また、平成20年度に設立された「甲府市男女共同参画推進委員会」を「第2次こうふ男女共同参画プラン」推進のために更に充実強化する。なお、平成25年度には、市民との連携と協働による男女共同参画の促進を図り、広く内外にアピールするよう「男女共同参画都市宣言」を実施する。

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値合計 (H25～27)
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
「第2次こうふ男女共同参画プラン」推進関連事業数	67	70	70	70	70	70
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H25～27)
	平成24年度		平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	6,877		7,651	6,797	6,797	

9 国際化への対応

施策の基本的考え方

- 姉妹友好都市のみならず、姉妹友好都市以外の都市などとも、21世紀の国際化時代に対応した新たな友好交流を推進します。
- 外国人に住みよいまちづくりを行うため、生活情報の提供、相談業務の充実、庁内体制の充実、地域活動の推進などに努めます。

施策・事業の体系

区分	施策	事業
国際化への対応 09	01 国際交流	01 小学校英語活動推進事業 <small>(再掲)</small>
		02 外国人講師による英語指導事業 (中学校) <small>(再掲)</small>
		03 外国人講師による英語指導事業 (高等学校) <small>(再掲)</small>
		04 新しい時代を担う人づくり基金事業 <small>(再掲)</small>
	02 外国人に住みよいまちづくり	

01 国際交流

■小学校英語活動推進事業 【事業No.02090101←No.02010201】再掲	担当部課係名	教育部	学校教育課 学務係	ダイヤルイン	223-7321
■外国人講師による英語指導事業（中学校） 【事業No.02090102←No.02010202】再掲	担当部課係名	教育部	学校教育課 学務係	ダイヤルイン	223-7321
■外国人講師による英語指導事業（高等学校） 【事業No.02090103←No.02020101】再掲	担当部課係名	教育部	学校教育課 学務係	ダイヤルイン	223-7321
■新しい時代を担う人づくり基金事業 【事業No.02090104←No.02010301】再掲	担当部課係名	教育部	学校教育課 学務係	ダイヤルイン	223-7321